

報恩感謝の心で一手一つに 「全教一斉ひのきしんデー」

恒例の「全教一斉ひのきしんデー」は全国で実施された。静岡教区では日頃のひのきしん活動の集大成として、全教のようばく・信者が心一つに実動する日としてとらえ、コロナ禍の中、感染拡大を防止する対策を十分に講じたうえで「ひのきしんデー」を今後前進するため一歩にしようとして「全ようばく家庭（声を掛けよう！）」をスローガンに掲げ取り組んできた。

前日より四月二十九日は悪天候が予想され急遽取りやめた支部、教会やようばく家庭周辺で行った支部と対応が分かれた。



第625号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email: skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



中遠支部3組（袋井市）

夏目歳継中遠支部長
守屋真和組長、太田文
慶担当が前日協議、袋
井市より会場の久野城

は教会長九名、布教所長一名、ようばく四名。このほか四十六名が教会、自宅周辺のひのきしんを行った。この模様は天理時報にも掲載された。

址のひのきしんを期待されていることも鑑み何とでも実施させていただこうと実施を決定。当日は不思議なことにひのきしん中は雨を預けて頂き予定通り作業を終了、参加者は感謝の気持ちでいっぱいになった。参加者



中遠支部4組(周智郡森町)

教育委員会より依頼をうけ急遽翌日の三十日、旧森町泉陽中学校校跡の除草、植木の剪定作業を行った。教会長四名、ようぼく十二名、少年会員二名、その他二名計二十名が参加した。

中遠支部5組(磐田市)

遠江国分寺史跡公園の除草作業を行った。教会長三名、ようぼく一名、布教所長一名、ようぼく六名、少年会員三名が参加した。

西駿支部1組(焼津市)

浜当目海岸のごみ拾い。

教会長三名、ようぼく一名参加。

西遠支部

五月六日浜松祭り 風揚げ会場清掃ひのきしん実施。五十四名が参加した。

四月二十九日に予定されていた、「発達医療総合福祉C・友愛のさと」のひのきしんは五月三十日に延期された。



各支部の動き

本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、伊豆支部、中駿東支部、中駿西支部、東駿支部、南遠支部、東伊豆支部、富士支部、北遠支部では会場に集まってもひのきしんを行わず、各教会、各家族単位で当日は親神様への報恩感謝の心で、静岡のあちらこちらでひのきしんが行われました。



天理時報から

視点

変異株の出現に思う

四月二十五日、四都府県に「緊急事態宣言」が発出されたことで厳しいゴールデンウィークとなった。前回の宣言解除から一カ月余りしか過ぎていない中で、政府が再び苦渋の決断をした背景には、感染力の強いコロナ変異株の急速な拡大がある。

新しい生活様式にも慣れワクチン接種が始まったことで、先行きに希望を抱いていただけに落胆は大きい。しかし、ウイルスの変異は人の力で抑えることはできない。その意味で、この事態にも親神様の思召が込められているように感じる。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大が始まったころの本紙三月一日号の「視点」で

「おふでさき」における感染症に対する思召を取り上げ、事態の治まりを願うには、「人をたすける心」「よふきづくめの心」に入れ替えることが肝心と書かれている。

この記事のように、教内ではコロナの大節に対するさまざまな思案が重ねられ、お互いに思召にお応えする通り方を心がけてきた。そのうえの変異株の出現である。そこにこもる思召を考えたととき、教祖の次の言葉が思い出される。

「それはなあ、手引きがすんでためしがまさんのやで。ためしというは、人救けたら我が身救かる、という。我が身思うてはならん。どうでも、人を救けたい、救かってもらいたい、という一心に取り直すなら、身上は鮮やかやで」（『稿本天理教教祖伝逸話篇』167「人救けたら」）

このお言葉を頂いた

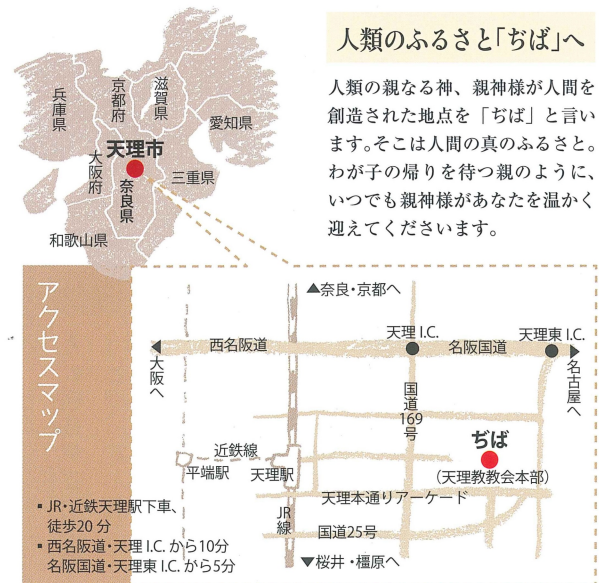
加見兵四郎は、娘と共に失明していたところを教祖におたすけいだいた。しかし、娘の目は完治したが、どうしたとか兵四郎の目は完全にはご守護いただけなかった。そこで再び願ったところ、このお諭しを頂いたのである。その後、兵四郎は熱心におたすけに奔走するうちに、すっかりおたすけいただいた。教祖は、身上を鮮やかにたすけていただけの確かな道として、人をたすける具体的な行動を促されている。このお諭しは、いまの私たちが置かれている状況にも当てはまる気がしてならない。いま、あらためて心を定め直し、何からでも自分ができるおたすけを実行していきたい。（諸）





いい心が、
いい明日を
引き寄せます。

天理教



人類のふるさと「ちば」へ

人類の親なる神、親神様が人間を創造された地点を「ちば」と言います。そこは人間の真のふるさと。わが子の帰りを待つ親のように、いつでも親神様があなたを温かく迎えてくださいます。

アクセスマップ

- ・JR・近鉄天理駅下車、徒歩20分
- ・西名阪道・天理 I.C. から10分
- ・名阪国道・天理東 I.C. から5分

お近くの天理教教会をお訪ねください。



◀天理教ホームページ

天理の教えチャンネル▶



いい心が、いい出来事を引き寄せるといふことを
ご存じですか？

この世の中には、目に見える世界と、
目に見えない世界が存在します。

ちようど、地上の植物の姿と、地下の根のように、
二つの世界は、しっかりとつながっていて、
見えない世界が、見える世界を支配しています。

目には見えませんが、

いい心は、いい出来事を引き寄せます。

よくない心は、よくない出来事を引き寄せます。
これは、神様の厳格な摂理なのです。

ときに、いい心は、いい言葉になったり、
いい行いになって姿をあらわします。

いい心とは、どんな心でしょう？
それは、人の利益や喜びを願う心です。
よくない心とは、どんな心でしょう。

それは、自分の利益や喜びばかりを願う心です。
いい心を遣ったり、よくない心を遣ったり、
長い間の心遣いが魂に刻まれて、私たちの運命を
かたちづくっているといってもいいでしょう。

天理教の教えには、いい出来事を引き寄せる心について、
具体的にしく示され、よくない心についても、
それを改めるための努力の仕方が、
わかりやすく教えられています。

いい心が、いい明日を引き寄せるのです。

天理教